

おおふなと 社協だより

2021年9月号

ふれあいネットワーク



今月の表紙

にいぬま としき ちはる
新沼俊希さん・千春さん
こうき
向希くん(1歳)
かずゆき きくこ
和幸さん・菊子さん
(大船渡町)

【特集】10月1日全国一斉スタート

赤い羽根共同募金	2～3
ボランティア体験 in いわて	4
とみちゃん会料理講習会	4
子育て支援ボランティア養成講座	5
生活福祉資金特例貸付	5
お知らせ	6～7
輝き人	8

我が家は毎日にぎやかです。これからも元気いっぱい遊ぼうね。



10月1日
全国一斉スタート

赤い羽根共同募金

地域課題を解決し
誰もが安心して暮らせる町づくりを

**住み慣れた地域で
安心して暮らせるように**

赤い羽根共同募金は、戦後間もない昭和22年に、市民が主体の民間運動として始まりました。当時は、戦後復興の一助として、被災した福祉施設を中心に支援が行われ、その後、法律の整備や社会情勢の変化に伴い、その役割も変容してきました。現在は、誰もが住み慣れた地域で、安心して暮らすことができるよう、様々な地域課題の解決に取り組む民間団体を支援する「じぶんの町を良くするしくみ」として、展開されています。

10月1日全国一斉にスタート

赤い羽根共同募金運動は、10月1日から翌年3月31日までの6か月間、全国一斉に展開されます。この間、時期を定め、使途に応じた募金に取り組みます。

大船渡市においては、各世帯に協力をお願いする戸別募金を中心に、法人募金、職域募金、学校募金等への取り組みを呼びかけていく予定です。

また、近年全国各地で発生している豪雨災害や土砂災害などの被災者を支援するため、災害義援金などの募集も適宜行います。

① 一般募金（10月1日～12月31日）

各市町村共同募金委員会が、市民、企業等に募金を呼びかけ、寄付を募ります。寄せられた募金は、約7割が募金を寄せられた市町村、約3割が市町村を超えた広い地域で、課題解決のために翌年度活用されます。

② 地域歳末たすけあい募金

（12月1日～12月31日）

一般募金と同様に、各市町村共同募金委員会が、市民、企業等に募金を呼びかけ、寄付を募ります。寄せられた募金は、全額当該地域において、誰もが温かい新年を迎えることができるよう、低所得世帯などへの支援や歳末時期の福祉活動費として、当年度中に活用されます。

③ テーマ型募金

（1月1日～3月31日）

地域課題解決に取り組む団体が、課題・活動テーマ（内容）を広く周知し、自ら募金活動を展開することで、活動に必要な資金を寄付金として募ります。

④ 災害義援金・支援金

被災者を支援するための募金は、義援金と支援金に分けられます。義援金は被災者へ見舞金として

分配され、支援金は災害ボランティア活動・NPOサポート募金（ボラサポ）として、被災者を支えるための活動を支援する助成金として活用されます。

たくさんのお善意が寄せられました

令和2年度、大船渡市共同募金委員会には、総額で8,950,031円の募金が寄せられました。

そのうち、一般募金は5,549,686円で、これを基とした令和3年度の大船渡市への配分金は、（注1）5,427,472円となっています。

また、岩手県共同募金会では、被災地住民の孤立防止、日常生活を支える活動等に対する助成事業を行っており、令和2年度には市内の17団体が助成を受けました。

助成総額は3,338,000円で、県内で最も多い助成額となっています。

（注1）被災地への加算配分等があるため、募金実績の7割以上の配分金額となっています

税制上の優遇措置対象

赤い羽根共同募金への寄付は、公益性、緊急性が高い寄付金として財務大臣が指定する「指定寄付金」とされ、法人、個人ともに税制上の優

【令和2年度の募金実績】

単位：円

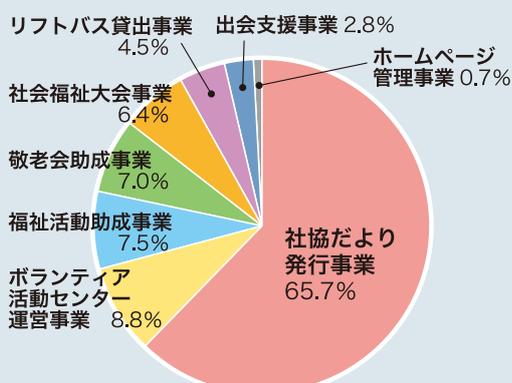
募金種別	募金実績額		義援金名	募金実績額
	一般募金	地域歳末たすけあい募金		
戸別募金	5,094,200	2,081,650	熊本県南豪雨義援金	7,989
街頭募金	179,254	149,166	令和2年7月豪雨災害義援金	203,995
法人募金	24,851	50,000	合計	211,984
学校募金	151,758	143,785		
職域募金	0	557,556		
イベント募金	4,200	0		
個人募金	75,911	64,203		
その他	19,512	142,001		
合計	5,549,686	3,188,361		



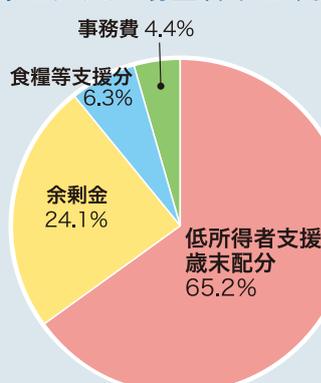
遇措置を受けることができます。
法人による寄付は、全額を損金算入することができ、個人による2,000円以上の寄付は、所得控除ま

【募金の使いみち】

地域福祉活動費(令和3年度予算)



歳末たすけあい募金(令和2年度実績)



たは税額控除を受けることができます。
いずれも手続きには、領収証が必要で



赤い羽根共同募金にご協力をお願いします

令和3年度の赤い羽根共同募金運動は、例年通り10月1日(金)より全国一斉に展開されます。

当市においても、中央共同募金会共同募金運動要綱に基づき、岩手県共同募金会と呼応した募金運動を展開することとしております。

毎年、市民の皆さまのご理解とご協力によりお寄せいただいた募金は、社会福祉協議会をはじめ、地域住民組織などが取り組む福祉活動や援助を要する世帯の支援など、「じぶんの町を良くするしくみ」として活用されています。

趣旨をご理解いただき、赤い羽根共同募金にご協力をお願いいたします。

○戸別募金の目標額

・一般募金 5,168,500円 ・歳末たすけあい募金 2,067,400円

○一世帯当たりの目安額

・一般募金 500円 ・歳末たすけあい募金 200円

○戸別募金の協力依頼方法

9月20日以降に、地域公民館、契約会など、各地域の住民組織の代表者を通じて、ご協力をお願いする予定です。なお、募金は強制するものではありません。各家庭相应のご協力をいただければ結構です。

問い合わせ先 社会福祉法人 岩手県共同募金会大船渡市共同募金委員会
電話 0192-27-0001 FAX 0192-27-0800
E-mail ooshakyo@cocoa.ocn.ne.jp



ひらけ、笑顔のとびらー！ ボランティア体験inいわて



大船渡市社会福祉協議会と岩手県社会福祉協議会が共催する「ボランティア体験inいわて」が、7月から8月にかけて実施され、2つのボランティア活動に高校生が汗を流しました。

7月は「ハッピーサマーアートの運営ボランティアとして参加。このイベントは、気仙地域の子どもたち対象のボーダレスアートイベントで、今年で5回目の開催となります。

感染拡大防止のため規模を縮小しての開催となりましたが、



暑さに負けず、一軒ずつ丁寧に仕上げました

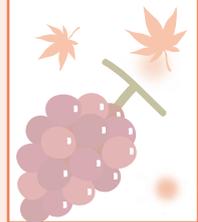
その分一人ひとりに寄り添い、ビニールのキャンバスに子どもたちの想像の世界を描くことができました。

ボランティアとして参加した梅澤美翔さん（大船渡高校2年）は、「コロナ禍でも、子どもたちの笑顔が見れて良かった。どんなイベントや行事も誰かの支えがあつて成り立っていることを改めて実感しました」と、話してくれました。

8月は公営住宅で生活する一人暮らし高齢者の窓ふきボランティア体験を実施。高齢者だけでは手の届かない高い場所や、掃除することが難しい網戸などの隅々までピカピカに拭き上げました。

入居する女性は「高齢になってくると少し高い場所や段差も怖くなるので掃除が行き届かない。コロナで遠方に住む子どもたちも帰ってこられないので、高校生に助けられ、清々しい気持ちでお盆を迎えられます」と話してくれました。

無理のない範囲で楽しめる活動を とみちゃん会料理講習会



猪川町富岡地区のとみちゃん会（朴澤美代子代表）は、本会の福祉活動助成を活用して今年度から活動を開始したサロン団体です。会員の大半が畑仕事をしているため、活動日は雨が降り、作業ができない日とし、無理のない範囲で活動する工夫をしています。

初めての活動日となった8月18日（水）は、会員7人が参加。料理講習会を開き、しそ巻きを作りました。

代表の朴澤さんの指導のもと、みそや砂糖、もち粉、くるみなど



しその葉に出来上がったみそを巻き、和気あいあいと調理を進める会員の皆さん

の材料を炒め、各家庭から持ち寄った青じそで包み、少量の油で焼き、1時間ほどで完成。完成したしそ巻きは、各自で自宅に持ち帰りました。

講習会後はお茶っこサロンのこと、家族のこと、新型コロナウイルスのことなど、話題が尽きず、参加者の笑顔が溢れていました。

参加者の女性は「最近ではコロナのせいだなかなか出かけられず楽しみがありませんでした。こうやって地域の人と世間話するだけでもいい気分転換になります」と話していました。

朴澤代表は「コロナ禍の中での開催に不安もありましたが、感染対策を徹底して開催しました。参加した住民のみんなが楽しそうに調理したり、話したりする様子が見えて、立ち上げた甲斐がありました」と話してくれました。

とみちゃん会では、新型コロナウイルスの感染状況を考慮しながら、料理講習会のほか、手芸教室や健康講座も開催する予定です。

地域で子育てを応援 子育て支援ボランティア養成講座



講師の話に熱心に耳を傾け、子どもの心理の奥深さを学びました

大船渡市ファミリーサポートセンターでは7月7日から8月4日までの毎週水曜日、子育て支援ボランティア養成講座を全5回の日程で開催しました。ファミリーサポートセンターとは、子育てを応援してほしい人と応援できる人が会員登録し、地域で子育てのお手伝いをする仕組みです。

子どもの預かり援助を受けた「おねがい会員」が、安全、安心に子どもを預けられるよう、「あずかり会員」として必要な知識を習得し、ファミリーサポート活動の質の向上を図りました。助産師など各分野の専門知識をもつ人を講師に迎え、子どもの心身の発達や小児看護の基礎知識、栄養面や子どもの遊びについて学びました。

同講座を受講した志田洋子さん(47)は「保育士の資格がなくとも、子どもと触れ合う機会があることを知り、この講座を受講しました。講座を受講し、身の引き締まる思いとともに、安全を第一に子どもにとつてホッとできる場を提供できればと思います」と話してくれました。

あずかり会員になるには同講座の受講が必須で、8月4日の最終日には、全5回のうち4回以上受講した人に修了証が交付され、2人があずかり会員に登録しました。

現在、大船渡市ファミリーサポートセンターの会員数は、おねがい会員が103人、あずかり会員は、今回修了者2人が新たに加わり24人となりました。

11月末まで申請期間延長へ 生活福祉資金特例貸付



新型コロナウイルス感染症の影響で収入が減少し、生活費が不足する世帯に対し、生活福祉資金特例貸付を実施しています。

貸付開始当初は、令和2年7月末で終了予定でしたが、感染拡大の収束が見えないことから、申請期間の延長措置が講じられ、このたび令和3年11月末まで再延長されることとなりました。

本貸付には2種類あり、それぞれ貸付要件、貸付上限金額などが定められています。

また、本資金貸付終了後及び再貸付不承認となった場合で、引き続き生活費が不足する場合

には、新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金の申請が可能となります。

①緊急小口資金特例貸付
生活維持のため、一時的な生活費が不足する世帯に、20万円を上限に貸し付けます。(1回限り)

②総合支援資金特例貸付
緊急小口資金特例貸付を利用した世帯で、貸付利用後も収入が戻らず、生活状況が改善しない世帯が対象です。

生活の立て直しまでの生活費として、20万円×3か月以内を上限に貸し付けます。

特例貸付・自立支援金 フローチャート

新型コロナウイルス感染症の影響で収入が減少し、生活費が不足している

相談・申請

①緊急小口資金特例貸付を利用

収入の減少が続き、生活の立て直しができていない

相談・申請

②総合支援資金特例貸付を利用

貸付期間が終了

貸付が不承認

『新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金』申請
※求職活動等条件あり

【支給月額】
単身6万円 / 2人世帯8万円 / 3人以上世帯10万円

* 岩手県福祉人材センター情報

介護のしごと定期相談会

キャリア支援員が介護の職場に就職したい人などの相談に応じます。申込み、問い合わせは下記までご連絡ください。

介護のしごと相談日程（10月）

開催日	会場	時間
4日(月)	大船渡市Y・Sセンター	午前9時～午後3時
11日(月)	大船渡市Y・Sセンター	午前9時～午後3時
12日(火)	おおふなぼーと	午前10時～午後3時
14日(木)	ハローワーク大船渡	午前10時～正午
18日(月)	大船渡市Y・Sセンター	午前9時～午後3時
21日(木)	ハローワーク大船渡	午前10時～正午
25日(月)	大船渡市Y・Sセンター	午前9時～午後3時
28日(木)	ハローワーク大船渡	午前10時～正午

※12日(火)はお子様と一緒にご相談可能です
申込・問い合わせ先

岩手県福祉人材センター 坂本

電話 080-8201-0200

メール n-sakamoto.shakyo@mopera.net

※感染防止対策を講じたうえで開催します
※事前予約の人を優先させていただきます

職員募集

令和4年4月1日採用予定の職員採用試験を次のとおり実施します。

募集職種及び予定人員 一般事務職員 若干名

応募資格 平成5年4月2日以降に生まれた人

試験日時 一次試験

令和3年10月31日(日)午前9時

二次試験

令和3年11月14日(日)午前9時

※一次試験合格者のみ

試験会場 大船渡市Y・Sセンター

その他 詳細は本会事務局及び介護ステーション（大船渡市総合福祉センター内）で配布、または本会ホームページに掲載されている実施要項にてご確認ください。

(<http://ofunato-shakyo.com>)

問合せ先 大船渡市社会福祉協議会総務課

電話 0192-27-0001

* その他

寄付・寄贈物品受入（8月）（敬称略）

福祉基金 匿名(2件)

寄贈物品 畑中賢一（ナス 50 kg・ピーマン 30 kg）

匿名(ナス 5 kg・ピーマン 20 kg)

「募集」「イベント」
「お知らせ」など
暮らしに役立つ情報をお届けします。

お知らせ
令和3年10月

申込・問い合わせ先 大船渡市社会福祉協議会
電話 0192(27)0001(代表)

イベントについては新型コロナウイルスの感染状況により中止となる場合があります。

* 子育て支援事業情報

つどいの広場内イベント

下記の日程でイベントを開催します。参加には事前申込みが必要です。

つどいの広場イベント日程（10月）

開催日	内容	時間
7日(木)	はじめてさんの日	午前10時～午後2時50分
13日(水)	健康相談会	午前10時20分～午前11時50分
14日(木)	ママのためのヨガ教室	午前10時15分～午前11時45分
21日(木)	子育て相談の日	午前10時～午後2時50分
	ハローワーク出張お仕事相談会	午前10時～午前11時30分

※ハローワーク出張お仕事相談会は、直接ハローワーク大船渡にお申込みください
電話 0192-27-4165

おでかけひろば

出張「つどいの広場」です。乳幼児の子育てをしている人ならどなたでも利用できます。

日時 毎週火曜日

【午前の部】午前10時～午前11時50分

【午後の部】午後1時～午後2時50分

※消毒作業のため正午から午後1時は入室できません

会場 おおふなぼーと2階和室

※慢性・先天性疾患、低体重出生児、発達障がいなど配慮が必要なお子さんのためのおでかけひろば「ゆるり」は、10月15日(金)（午前10時～午前11時50分）に開催します



第3期トレーニング教室受講者募集

下記の日程でトレーニング教室を開講します。参加には事前申込みが必要です。

場 所 大船渡市Y・Sセンター
 受付期間 9月24日(金)～9月30日(休) 午前9時30分～午後4時30分 (土・日曜日を除く)

申込方法 申込書に受講料を添えて申込む(電話予約不可)

受講料 水曜クラス 2,000円、
 金曜クラス・リズム体操 1,000円 (施設利用料別途)

その他 一人1教室のみ申込可

トレーニング教室日程

曜日	教室名	時間	開催日	定員	内容
水	水曜クラス	午後1時30分～午後2時30分	10月6日～12月22日 (全11回)	20人	筋力トレーニング
金	金曜クラス		10月8日～12月24日 第2・4金曜日 (全6回)	20人	筋力トレーニング
	リズム体操		10月1日～12月17日 第1・3・5金曜日 (全7回)	15人	軽体操

第3期水泳教室受講者募集

下記の日程で水泳教室を開講します。参加には事前申込みが必要です。

場 所 大船渡市Y・Sセンター
 受付期間 9月28日(火)～10月5日(火) 午前9時30分～午後4時30分 (土・日曜日を除く)

受付方法 申込書に受講料を添えて申込む(電話予約不可)

受講料 一律1,500円(施設利用料別途)

その他 一人3教室まで申込可

水泳教室日程

曜日	教室名	時間	開催日	定員	内容
火	火曜水中運動	午前 9時30分～午前10時30分	10月12日～12月21日 (全10回)	25人	水中体操ほか
	火曜水泳教室	午後 1時30分～午後 2時30分		10人	水泳指導 (上級) 平泳ぎ・バタフライ
水	水曜水泳教室	午前 9時30分～午前10時30分	10月13日～12月22日 (全11回)	20人	水泳指導 (中級) 背泳ぎ・バタフライ
	水曜水中運動	午後 1時30分～午後 2時30分		25人	水中体操ほか
	水曜水泳教室(夜)	午後 6時30分～午後 7時30分		16人	水泳指導 (初・中・上級) 4泳法
木	木曜水中運動	午前 9時30分～午前10時30分	10月14日～12月16日 (全10回)	25人	水中体操ほか
	木曜水泳教室	午後 1時30分～午後 2時30分		10人	水泳指導 (初級) ウォーキング・クロール
金	金曜水泳教室	午前 9時30分～午前10時30分	10月15日～12月17日 (全10回)	20人	水泳指導 (初・中級) クロール・背泳ぎ・平泳ぎ
	金曜水中運動	午後 1時30分～午後 2時30分		25人	水中体操ほか
土	児童水泳教室	午前 9時30分～午前10時30分	10月16日～12月18日 (全10回)	25人	水泳指導 (初級) 水慣れ～背泳ぎ

介護のワンポイントアドバイス



車いす移動助「エレベーター」編



①出入りでは、キャストがドアに挟まる危険を回避するため正面から進みます。方向転換ができない狭いエレベーターの場合は後ろ向きに進みます。
 ※一般用と身障者用のエレベーターが2基並んでいる場合は、ドアの開閉時間が長い身障者用を使用しましょう



②乗降口の溝穴が広いエレベーターでは、キャストを上げて乗降します。乗降口の溝が狭い場合は、キャストがまっすぐになっていることを確認し乗降しましょう。

③エレベーターに入ったらブレーキをかけましょう。
 ※ブレーキをかけなければ、揺れによって車いすが移動し、利用者がバランスを崩したり、同乗者にあたって怪我をすることにつながります

我が家のペット



我が家の「ころくん・りゅうたくん」

同い年の仲良し男の子で～す♪

三陸町綾里 こりりゅうママ

投稿写真大募集!

①写真データをメールする

メールに画像を添付して送ってください。



②写真を郵送する

宛先は8ページに掲載しています。

①・②共通

- ペットの名前
- 一言説明コメント
- 名前(ペンネーム可)
- 住所(町まで可)を必ず添えてください

次号締め切り

10月5日(火)

輝き人

まつ おか ひろ みつ
松 岡 浩 光さん(47歳)

末崎町在住。2004年9月より株式会社サンメディカル大船渡営業所に勤務。現在、大船渡営業所所長兼福祉用具専門相談員として、利用者、家族双方の思いに応えるため尽力する。



利用者の在宅生活を 福祉用具で支える

○福祉はゼロからのスタート

高校を卒業後、羽田空港の貨物部門で働いていましたが、将来の両親の生活を考えたときに、大船渡に戻ってきたいと思っていました。25歳でUターンし、その後は製材業やホテル業、呉服の営業などいろいろな業種を経験してきました。この職場に勤め始めたきっかけは、同じ職場で勤める知人からの誘い。今まで経験した営業のスキルも生かせると思い入職しました。

営業職といっても福祉業界は初めて。「福祉Ⅱ介護」のイメージでゼロからのスタートでした。実際に福祉用具の納入や回収、利用者と接していくなかで、福祉に必要なスキルや福祉のあるべき姿などを学んでいったことを覚えていきます。

○福祉用具専門相談員の役割

福祉用具専門相談員は、介護を必要としている人に最適な福祉用

具を選び、提供する仕事です。そのために、利用者の身体状態や生活環境、生活導線などを十分に聞き取りし、利用者自身が思い描く姿をイメージできるかが重要です。このイメージと実際の生活が一致せず、用具を選定し直すことが16年目を迎える今でも少なくありません。まだまだ勉強の毎日です。

○安全で心地よく 使ってもらうために

福祉用具を納品して終わりではありません。そこから重要です。利用者に安全に、心地よく使ってもらえることが大切です。そのため、日々変化する身体状態に福祉用具が合っているか、不具合はないかを訪問して直接確認し、必要に応じて修繕や見直しを行います。状況確認であれば電話でもできますが、利用者には「この人に任せます。大丈夫」と思ってもらいながら仕事をするには訪問が重要です。

新型コロナウイルス感染拡大によって、利用者と直接会うことが困難な状況ではありますが、感染症予防や短時間訪問など工夫をしながら訪問しています。

歩行器をレンタルしている利用者で、納品後のメンテナンスに訪問をした際に「自分の力だけで家族に負担をかけずに生活できている、ありがとう」と言われたときには自分たちの用具選定が間違っていないかったんだと嬉しい気持ちになりました。

○福祉用具で 利用者の未来をつくる

スマートフォンで調整ができるベッドなど、便利になっていくことは、利用者の思い描く生活を実現できる可能性を秘めていると思っています。また同時に、利用者家族を支える大きな力にもなります。そのために、私たちに何ができるのか考えています。

利用者やその家族へ、適切な福祉用具を提案する力を養っていくことはもちろん、地域住民に福祉用具そのものを、もっと知ってもらうような取り組みにも、今後力を入れていきたいと考えています。